

日本工学院専門学校		開講年度	2019年度		科目名	特別演習 1
科目基礎情報						
開設学科	建築学科		コース名		開設期	前期
対象年次	3年次		科目区分	必修	時間数	30時間
単位数	1単位				授業形態	実習
教科書/教材	『第3版コンパクト建築設計資料集成』、課題資料、参考資料を配布し、参考書等は授業中に指示する					
担当教員情報						
担当教員	平山 浩樹 他			実務経験の有無・職種	有・建築設計 一級建築士	
学習目的						
この科目を受講する学生は、建築の創造活動が協働の場であることを理解し、実践的な課題に取り組むことを通して、総合的に建築の設計、設計手法について学ぶ。現代社会が抱える問題に対して建築にどのような役割が求められており、どのように建築的な解決をすれば良いのかを理解できるようになるのが学習目的である。						
到達目標						
この科目では、敷地およびその周辺の場所の観察・分析を通して、その場所にふさわしい建築空間を企画・提案し、理論的な設計意図を持った具体的な建築物としてプレゼンテーションできる力を養うことを目標にしている。この課題を通して、場所や条件を読み解く力、発想する力、具現化する力、プレゼンテーションする力を身につけ、限られた時間内で完成させることが到達目標である。						
教育方法等						
授業概要	この授業では大田区南六郷に実在する敷地を設定し、図書ゾーン／託児ゾーン／〇〇ゾーンの3つの機能が複合した地域のコミュニケーションセンターを設計する。敷地を取り巻く都市的・社会的状況や場所との関係性を理解した上で、子どもからお年寄りまで誰もが親しみやすい公共複合施設を設計することにより、地域の問題点をあぶり出し、その現状に一石を投じる具体的な提案として建築作品をまとめることを目指す。					
注意点	この授業では、指導教員と学生のコミュニケーションを重視する。敷地調査、スタディ模型、スタディ図面、中間発表、最終案、プレゼンテーション模型、プレゼンテーションシート、最終講評会へと作業が進んで行くが、毎回の指導教官とのチェックと意見交換が重要となる。調査（サーベイ）はただ漠然と行うのではなく、問題意識や仮説を持って取り組む。機能が複合することで利用者にメリットが生まれる提案とする。理由のない遅刻や欠席は認めない。授業時数の4分の3以上出席しない者は作品を提出しても単位を与えない。					
評価方法	種別	割合	備 考			
	試験・課題	20%	最終講評会に所定の成果物を揃えて期限通り提出したことを内容とも総合的に評価する			
	小テスト	20%	中間発表に所定の成果物を揃えて期限通り提出したことを内容とも総合的に評価する			
	レポート	30%	毎回のエスキス過程や制作過程のチェックおよび教員との意見交換の内容を総合的に評価する			
	成果発表 (口頭・実技)	20%	即日課題の作品とプレゼンテーションで他者への伝え方の習熟度を総合的に評価する			
	平常点	10%	積極的な授業参加度、授業態度によって評価する			
授業計画（1回～14回）						
回	授業内容			各回の到達目標		
1回	課題説明／事例説明／グループ			課題の主旨を理解する／グループで事例を調べる方法／グループ分けと役割分担		
2回	事例研究発表会／敷地調査の説明			他グループが調べた事例も理解し事前知識を増やす／敷地調査の方法を知りGW中に各自サーベイ		
3回	エスキス（1）			ゾーニングとボリュームの検討／提出：敷地調査チェック		
4回	エスキス（2）			ゾーニングとボリュームの検討／提出：スタディ模型①②＋ゾーニング図（セットで2案以上）		
5回	エスキス（3）			図面化／提出：スタディ模型③＋平面図・断面図		
6回	中間発表会			プレゼンテーション／コンセプトと具体案の妥当性を検証／提出：スタディ模型④＋平面図・断面図		
7回	案の決定			指導教員と最終セッション／提出：最終スタディ模型⑤＋平・立・断の下描き図		
8回	各自作業（自宅）			各自最終CAD図面（平・立・断）／プレゼンテーション模型を進める		
9回	プレゼンテーション模型（1）			プレゼンテーション模型／提出：最終CAD図（平・立・断）のチェック→手直し		
10回	プレゼンテーション模型（2）			プレゼンテーション模型／提出：ダイアグラム＋レイアウトのチェック→手直し		
11回	プレゼンテーションシート（1）			プレゼンテーションシート／提出：模型写真＋コンセプト文→手直し		
12回	プレゼンテーションシート（2）			プレゼンテーションシート／提出：プレゼンテーションシート（A3縮小版）のチェック		
13回	最終講評会			これまで構築してきた理論的建築を他者に伝える／考え方の異なる他者の作品を鑑賞する		
14回	即日設計仕上げ&講評会			完成提出／講評会で自分の瞬発的な発想力と表現力を検証する		